

# 当初予算

問合せ  
企画財政課 TEL 47-18012

平成22年度南越前町当初予算が、3月議会定例会で審議され決まりました。  
平成22年度当初予算は、町長の任期の関係で政策的経費を計上しない「骨格予算」とした平成21年度当初予算と比較すると6億5,613万2千円の増となりましたが、町長就任後の政策的経費や新規事業等を計上した6月補正予算後と比較すると2億1,985万5千円の減となりました。

## 一般会計 ◆平成22年度一般会計予算の概要◆

平成22年度当初予算は、個人所得の減少や企業収益の悪化等により、平成21年度よりもさらに税収入の減少が見込まれることから、歳入を過大に見積もることのないよう留意しつつ、歳出については、南越前町総合計画に基づき「5つのまちづくり」の推進に重点を置いた予算編成としました。また、国の緊急経済対策にあわせて、大型の予算編成を行った平成21年度3月補正予算との一体編成とし、町民の皆さんの福祉向上と地域経済の活力創出を図るために必要不可欠な経費について積極的に予算化しています。

「今庄中学校耐震大規模改造事業(校舎棟)」、集落のニーズに応じて利用可能となる補助事業の実施など、町民の皆さんにとってより良い町となるための必要な経費を積極的に予算に盛り込みました。また、町の借金である地方債は、発行限度額の上限を定めることで抑制を図り、減債基金の計画的な積み立てで返済に備えます。

平成22年度は、地方税の減収などにより長期的に深刻な一般財源不足に陥ることが推測されることから、財政状況の当面の改善はもとより、あらゆる財政指標を分析し、将来のまちづくりを踏まえた財政運営に取り組みます。その指針として、平成20年度に策定した財政健全化計画(※1)や公営企業経営健全化計画(※2)に掲げたまざまな課題の解決を図ります。

## 平成22年度南越前町予算

120億3,707万4千円

一般会計 78億 110万7千円  
特別会計 40億 1,145万4千円  
企業会計 2億 2,451万3千円

## 歳出 (性質別)

議員報酬や職員の給料などの人件費は、職員削減などにより、前年度と比べ2.7%減少しましたが、未だ予算総額の18%余りを占めています。また、使用料や備品購入費などの物件費は、経費の削減を進めているものの、町職員が業務上使用するネットワークシステムの更新等により14.9%増加しています。社会保障関係の経費である扶助費は、子ども手当の創設などに伴い、前年度と比べ35%近く増加しています。学校、道路等の社会資本の整備に要する投資的経費は「今庄中学校耐震大規模改造事業(校舎棟)」や「町道改良事業」、「福祉バス購入事業」等を計上しています。

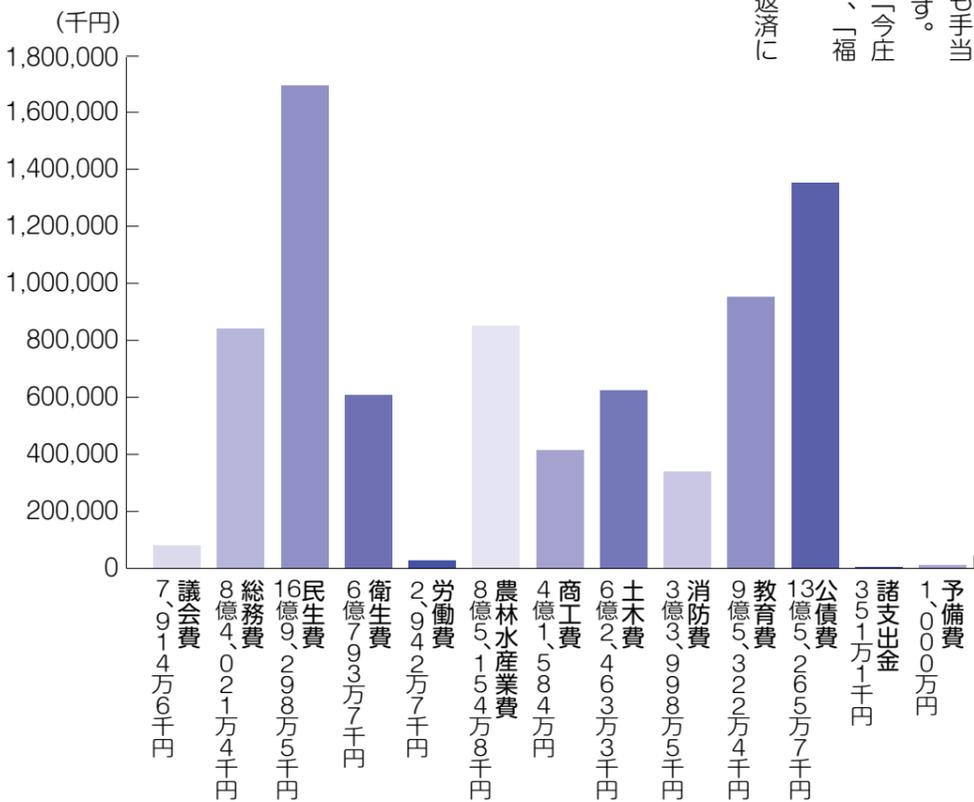
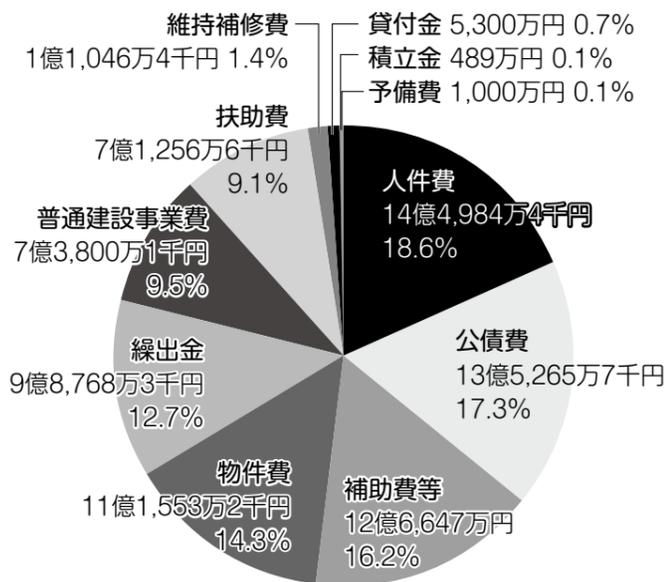
また、予算総額の17%余りを占める公債費(地方債の返済に要する経費)は、前年度と比べ6%増加しています。

## (目的別)

国の緊急経済対策に伴い、平成21年度3月補正予算に「今庄中学校耐震大規模改造事業(体育館)」を計上したため、教育費は減少しています。

(※1) 財政健全化計画  
行政改革推進の一環として、権限移譲・ニーズの多様な地方分権社会への対応、三位一体改革への対応そして、特別会計等の財政健全化を進めることにより、安定的な財政運営を行うため、財政構造改革の指針として策定するもの。p.10。

(※2) 公営企業経営健全化計画  
水道事業などの経営健全化・効率化を推進し、経営基盤の強化を図るため、料金収入の確保、維持管理費の抑制など、施策の方針を策定するもの。p.10。

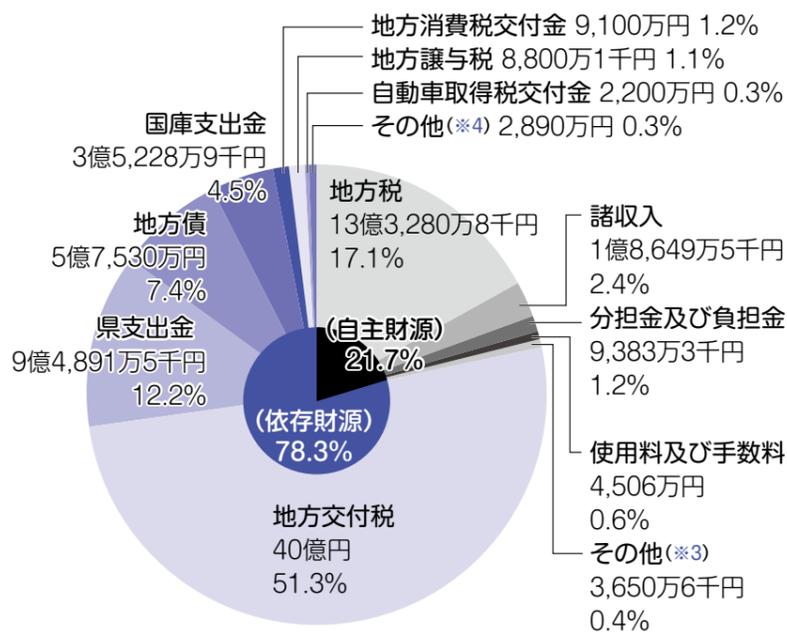


## 歳入

町の自主財源は、景気の低迷などにより個人所得の減少が見込まれることから個人町民税が大幅に減少したほか、土地の価格低落、3年に一度行われる評価替え、個人や会社などが新しく償却資産を取得しないことなどから、固定資産税が減少しています。

しかし、歳入予算の7割以上を占める国などに依存している財源では、普通地方交付税が増加したほか、子ども

手当の新設に伴う国庫負担金や道路を中心にインフラ整備を対象とした地域活力基盤創出交付金、緊急雇用創出事業等の県補助金が増加しています。また、地方債のうち、後年度に地方交付税として保障される臨時財政対策債の発行可能額は、前年度と同額になっています。なお、財政調整基金や減債基金の取り崩しによる繰入金金は計上していません。



(※3)の内訳：財産収入3,144万7千円(0.40%)、繰入金505万9千円(0.06%)

(※4)の内訳：地方特例交付金1,890万円(0.24%)、利子割交付金500万円(0.06%)、配当割交付金200万円(0.03%)、交通安全対策交付金200万円(0.03%)、株式等譲渡所得割交付金100万円(0.01%)

# 平成21年度3月補正予算および平成22年度当初予算の主な事業



▲道路を拡幅する町道鑄物師阿久和線



▲急傾斜地崩壊対策が実施される糠区  
(急傾斜地崩壊対策事業負担金)



▲耐震大規模改造が行われる今庄中学校



▲梅の栽培や収穫等を体験できる梅の木オーナー事業

町では、平成21年度3月補正予算において、国の緊急経済対策にあわせて地域経済の活性化と生活対策を講じるための大型予算を編成し、平成22年度当初予算においても、事業の優先度、緊急度、集落要望等を踏まえ早急に取り組むべき課題に

## 安全安心して暮らせるまちづくり

### 平成21年度3月補正予算

町道道路改良事業(町道大道脇本線など)	7,550万円
河川災害防止事業(砂防河川浚渫事業)	2,000万円

### 平成22年度当初予算

地震防災マップ作成事業	499万円
国県道等道路改良負担金	1,941万円
町道道路改良事業(町道鑄物師阿久和線など)	1億990万円
大良川改修事業	789万円
急傾斜地崩壊対策事業負担金(糠区など)	997万円
安全安心して暮らせるまちづくりネットワーク整備事業	1,300万円

## 人と文化を育むまちづくり

### 平成21年度3月補正予算

今庄中学校耐震大規模改造事業(体育館)	9,961万円
---------------------	---------

### 平成22年度当初予算

今庄中学校耐震大規模改造事業(校舎棟)	2億9,467万円
私立幼稚園(認定子ども園)運営費補助金	1,137万円

## 住民主体のまちづくり

### 平成22年度当初予算

集落自治振興交付金	745万円
山海里集落支援事業	1,327万円
まちづくり交付金	1,348万円
地区集会所整備事業補助金	707万円
臨時職員登録制度事業	586万円
梅の木オーナー事業	45万円
ホタルの郷推進事業	43万円

ついて予算に盛り込み、これらを併せて、町民の皆さんの福祉向上と地域経済の活力創出を図ることとしました。

ここでは、平成21年度3月補正予算と平成22年度当初予算の主な事業を基本施策ごとに紹介します。

## 住民に優しいまちづくり

### 平成22年度当初予算

子ども手当	2億1,840万円
福祉バス購入事業	843万円
施設用バス購入事業	1,074万円
今庄診療所医療機械(心電図)整備事業	389万円

## 生き活きと働けるまちづくり

### 平成21年度3月補正予算

農業用排水路改修事業(阿久和区)	1,000万円
林道今泉線改良事業	1,542万円

### 平成22年度当初予算

林道改良事業(林道北谷線など)	7,900万円
緊急雇用創出事業およびふるさと雇用再生特別基金事業	
〔河川敷樹木伐採事業、まちづくりアンケート調査事業、林道保全事業、地域福祉推進事業等の実施において臨時作業員等を募集し、一時的な雇用機会を創出します。〕	
.....	3,852万円
中山間地域総合整備事業負担金	
〔農業水利施設(パイプライン等)の基盤整備が実施されます。〕	
.....	1,671万円
水田利活用促進対策事業	
〔米の需給調整と水田の有効活用を目的に、水田において生産する作物に対して助成します。〕	
.....	2,345万円
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	
〔農業水利施設(パイプライン等)の基盤整備を実施します。〕	
.....	2,828万円
明日の地域農業を支える担い手条件整備事業	926万円
森林整備地域活動支援交付金	7,272万円
大型クラゲ防除改良網導入支援事業	200万円
甲楽城漁港修築事業	200万円
南越前町産業フェア開催事業補助金	530万円



▲更新される南条地区の福祉バス



▲路面整備を実施する林道北谷線



▲雑木等を伐採する日野川の河川敷地



▲パイプラインが整備される湯尾一鱒波間  
(中山間地域総合整備事業負担金)

# 平成22年度当初予算 特別会計・企業会計

南越前町には、14の特別会計と1の企業会計があり、特定の事業について独立した予算で事業を行います。

特別会計予算 **40億1,145万4千円** ( )は前年度増減額

		<b>国民健康保険</b> <b>11億2,566万4千円</b> (5,995万1千円) 南越前町国民健康保険に加入している方の医療費の給付などを行う会計	<b>国民健康保険 今庄診療所</b> <b>2億8,255万8千円</b> (801万1千円) 今庄診療所を運営する会計
<b>河野診療所</b> <b>9,623万7千円</b> (946万3千円) 河野診療所を運営する会計	<b>簡易水道</b> <b>1億7,754万4千円</b> (47万7千円) 町内8カ所の簡易水道施設と2カ所の飲料水供給施設を維持管理、運営する会計	<b>個別排水処理施設</b> <b>1,179万円</b> (61万8千円) 個別合併浄化槽を維持管理、運営する会計	<b>農業者労働災害共済</b> <b>621万円</b> (0千円) 町内で農作業中に災害を受けた方を救済する会計
<b>老人保健</b> <b>12万8千円</b> (△372万1千円) 75歳(一定の障害のある方は65歳)以上の方の医療費の給付などを行う会計	<b>後期高齢者医療</b> <b>1億3,992万7千円</b> (26万7千円) 75歳(一定の障害のある方は65歳)以上の方の保険料などの事務を行う会計	<b>農業集落排水</b> <b>4億2,364万6千円</b> (△4,231万7千円) 町内13カ所の農業集落排水施設を維持管理、運営する会計	<b>老人保健施設</b> <b>1億5,759万5千円</b> (324万9千円) 今庄老人保健施設を運営する会計
<b>介護保険</b> <b>11億9,399万8千円</b> (5,768万7千円) 介護が必要なお年寄りなどにサービスを行う会計	<b>ケーブルテレビ</b> <b>1億1,179万7千円</b> (149万3千円) ケーブルテレビ施設を維持管理、運営する会計	<b>下水道</b> <b>2億8,236万円</b> (△807万円) 町内2カ所の下水道施設を維持管理、運営する会計	<b>代継基金運用</b> <b>200万円</b> (△124万5千円) 南条地区の青少年および青少年団体の育成を行う会計

企業会計予算  
**2億2,451万3千円**

**水道事業 2億2,451万3千円 (2,096万円)**

南条地区簡易水道事業(5施設)の統廃合により上水道事業として新たに設置した施設を維持管理、運営する会計



## 当初予算編成にあたって

税収などの一般財源総額の伸びが見込めない状況、公債費や社会保障関係経費などの義務的な経費の増加が引き続き見込まれる現状を踏まえ、平成20年度の決算状況※を分析しながら、5つの基本的な取り組み方針を定めました。

☆「5つのまちづくり」の施策展開を基本に、住民生活に直結した事務事業の適切な選択と重点配分を行いました。

☆一層の行財政改革を推進するために、職員数の適正化を中心に定めた集中改革プランや財政健全化計画、水道事業などの公営企業経営健全化計画の目標達成に取り組みました。

☆すべての事務事業について見直しを行い、不要不急の事業を抑制し、事業の選択と集中を図りました。

☆活用されていない町有財産や分譲宅地などの売却可能資産の処分について再検証しました。

☆企業会計を含む特別会計については独立採算制の原則に基づき、適正な歳入確保と徹底した歳出抑制に努めました。

※平成20年度の決算状況  
(南越前町の主な財政指標)

●経常収支比率(人件費や公債費など経常的経費の占める割合で、財政構造の弾力性を示す率です。)  
H19 91・7% ↓ H20 89・1%

☆2・6ポイント改善

●実質公債費比率(公債費および公債費に準ずる経費の状況を示す率です。)  
H19 14・0% ↓ H20 15・7%

☆1・7ポイント悪化

この率が18%を超えると、知事の同意で発行できる地方債は、総務大臣の発行許可が必要となります。

●将来負担比率(公債費や職員退職金など将来支払わなければならない可能性が残高を示す率です。)  
H20 119・5%

県内17市町中、9番目に将来の財政負担の見通しが悪い数値となっています。